人が活きる環境の創造

人が活きる環境の	創造																自主	評価の凡例	❤=目標	達成 🙂=	一部未達	⊜=未達
重要課題 (重要課題は★)	KPI	2023年度目標	2023年度実績	2024年度目標	中長期目標	- 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	- 11	12	13	14	15	16	17
★モノ・コトづくりの クオリティの追求★イノベーションの推進と 新しい価値の創出7 8 9 12	中期経営計画2025 参照 2023年5月10日 開示 中期経営計画2025 説明資料 https://ir.okamura.co.jp/ library/managementplan/	企業の成長を支え多様な働き方に応えるソリューションの提供 小売業が抱える社会問題の解決とみらいの店づくりの研究・開発 スマート物流に貢献する製品・サービスの開発 産業車両向けの環境対応型製品の開発	2024年5月13日開示・ 2024年3月期決算説明 会資料	2023年度目標継続	顧客・社会への新たな 価値提供による「人が 活きる社会の実現」							7.a	8.2 8.5	9.4 9.5			12.5 12.8					
★ 安全な製品・ サービスの提供9 12	重大製品事故発生件数 * 重大製品事故の定義: 当 社製品により、生命・身体に重大な被害を及ぼした事故、および製品以外の財産に火災等の重大な被害を及ぼした事故	0件	0件	0件	_									9.4 9.5			12.4					

上記数字のマークは関連するSDGsを示しています

自主評価の凡例 📦=目標達成 🙂=一部未達 😂=未達

サステナビリティ行動計画とSDGs

地球環境への取り組み

重要課題(重要課題は★) 2023年度実績 中長期目標 9 10 11 12 2023年度日標 2024年度目標 省資源・廃棄物削減によ 生産系廃棄物の社内完 生産系廃棄物等排出量 ★ サーキュラー 生産系廃棄物等排出量 2030年度生産系廃棄 原単位前年度比3.1% エコノミーの推進 る資源循環の推進 成高あたり 社内完成高あたり 物の2020年度比9% 15.1 12.2 前年度比1.0%の原の排出量原単位低減 前年度比1%の排出量 増加で未達 15.2 3 6 7 9 12 17.16 原単位低減 単位低減 7.3 12.4 3.9 6.3 9.4 13.1 14.1 15.3 12.5 17 17 13 14 15 17 15.4 製品開発における環境配 グリーンウェーブ・グ 環境配慮販売製品の管 開発率向上活動中 12.7 15.5 慮型企画と設計推進 リーンウェーブ+製品開 理指標の設定と実態 発率の向上 把握 ★ 持続可能な自然資源の 森林資源の持続可能な利 木材利用方針に基づい
利用方針遵守中 木材利用方針に基づい! ― 利用と保全 用の推進 た利用率集計 た合法性の再確認 15.1 6.3 15.2 17.16 12.2 6 12 13 14 15 環境影響度の低減 水資源使用量 原単位 水資源使用量 前年度比1%の水資源 2030年度10%の水 14.1 6.4 13.1 15.3 17.17 前年度比5.8%低減 12.5 使用量 原単位低減 社内完成高あたり 資源使用量削減 (2020 6.6 15.4 17 前年度比1.0%の原 年度比) 15.5 で達成 単位低減 ★ 気候変動問題への グループ全体で グループ全体でスコー 地球温暖化防止対策の グループ全体で 2030年度温室効果ガ 貢献とカーボンニュー **1,000t-CO**2/年の **1,264t-CO**2/年の プ1+2排出量 ス排出量50%削減 2020年度比20%削減 トラルの実現 排出低減 排出低減 (2020年度比)、2050 温室効果ガス排出量 年カーボンニュートラ ● 工業用燃料使用量 ● 工業用燃料使用量 • 工業用燃料使用量 低減 7 9 13 15 17 ルを目指す 5年度平均6.5%低 😜 5年度平均1.0%低減 ● 燃料系エネルギー使用 5年度平均1%低減 • 車両用燃料使用量 減で達成 • 車両用燃料使用量 量低減 5年度平均5%低減 • 車両用燃料使用量 5年度平均5.0%低減 5年度平均15.7%低 減で達成 15.1 17.16 7.3 9.4 13.1 エネルギー生産性向上 エネルギー生産性 生産系エネルギー生産性 ● 省エネ法対応によるエ 2030年度エネルギー 17.17 7.a 前年度比1%向上 前年度比0.6%減少 ネルギーの効率利用 生產性向上 10% で未達 (2020年度比) 生産系エネルギー消 費原単位 社内完成 高あたり前年度比 1.1%低減 事務所系エネルギー 消費原単位 総人員 あたりのエネルギー 消費原単位維持 環境影響度の低減 前年度比 **1%**のPRTR PRTR排出・移動量 ものづくりでの PRTR排出・移動量 2030年度10%の 環境保全活動 排出・移動量 原単位 原単位前年度比 社内完成高あたり PRTR排出・移動量 11.4% 増加で未達 低減 前年度比1.0%の原 原単位削減(2020年 6.3 15.1 3.9 9.4 11.6 12.4 14.1 3 6 9 11 6.4 15 2 単位低減 度比) 12 14 15 環境汚染の防止 汚染予防・有害化学物質 大気汚染・水質汚濁・土 法令違反なし 大気汚染・水質汚濁・土 環境法令の遵守と情報 壌汚染防止 法令遵守 壌汚染防止、水銀含有 : 収集 **亲**校 3 6 11 12 6.3 (有害物質の管理と削減) 廃棄物の適正処理、フ 3.9 11.6 12.4 14.1 15.1 6.4 ロン関連設備の点検実 14 15 施と漏えい量管理

上記数字のマークは関連するSDGsを示しています

サステナビリティ行動計画とSDGs

従業昌の働きがいの泊せ※

従業員の働きがい	Nの追求 [*]																自主	評価の凡例	❤=目標	達成 🙂=	-一部未達	⇔=未達
重要課題(重要課題は★)	KPI	2023年度目標	2023年度実績	2024年度目標	中長期目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	- 11	12	13	14	15	16	17
★ Work in Life (ワーク インライフ) の推進 3 8	従業員満足・エンゲージ メントの向上	働きがい向上施策の 実施エンゲージメントサー ベイの実施	エンゲージメントサー ベイ結果レーティング 「OCC」	エンゲージメントス コア向上重点改善項目の設定	2025年度までにBレー ティング達成			3.d					8.5									
★ DE&I (ダイバーシティ・ エクイティ&インクルー ジョン) の推進	女性従業員比率	(2024年度までに 22%)	22%	23 %	_																	
5 8 10	女性管理職比率	6.5%	6.8%	≌ 7%	_																	
3 0 10	新卒女性採用比率 (大卒)	(2024年度までに 40~50%)	47.9%	⊕ 40∼50%	_					5.1 5.4			8.5		10.2 10.3							
	男性育休取得率	65%	63.3%	9 65 %	_					5.5					10.0							
	(男性育休+配偶者出産 休暇)取得率	— 2024年度より目標管理	92.4%	_ 100%	_																	
	障がい者雇用率	2.50 %	2.55%	② 2.58 %	2025年度 2.7%																	
★ キャリア形成支援と	育成面談実施率	100 %	96.4%	100 %	_																	
4 8	強みにつながる専門職へ の各種施策の実施	専門職の技術とスキル の把握	強みにつながる知識習 得や国家資格等の取得 推進	各事業本部の戦略に 沿った専門人財育成の プログラム企画運営の 体制とスキームの構築)				4.3 4.4 4.5 4.7				8.5									
	オカムラ ユニバーシティ 受講アンケート「今後の キャリアに活かせる」	満足度 80 %	受講者の 89.6% が 今後のキャリアに活か せると回答	受講者の 95% が今後 のキャリアに活かせる と回答					4.a													
健康と安全に配慮した	年次有給休暇平均取得率	80%	70.8%	⊗ 80 %	-																	
	一般定期健康診断受診率	100 %	100 %	(a) 100 %	100 %																	
	ストレスチェック受検率	100 %	99.7%	100 %	100%			3.4 3.5														
専門人財育成の強化	喫煙率	26%	26.3%	25 %	2025年度 前年度より -1%			3.8 3.a 3.d					8.5									
	「積極的支援」「動機づけ 支援」の対象者比率 (40 歳以上の健診受診者)	各 9% 以下、 5% 以下	7.8% 5%	_ ⊕	2025年度 各 8% 以下、 5% 以下																	
チームワークによる業 務の遂行 8 17	話し合い*実施率	100%	82.4%	100%	_								8.5									17.16

上記数字のマークは関連するSDGsを示しています ※対象範囲:オカムラ単体 *話し合い:職場課題や環境の改善のための全社取り組み

自主評価の凡例 😜=目標達成 🙂=一部未達 😂=未達

サステナビリティ行動計画とSDGs

責任ある企業活動

重要課題(重要課題は★)	KPI	2023年度目標	2023年度実績	2024年度目標	中長期目標	1 2	3	4	5	6	7	8	9	10	- 11	12	13	14	15	16	17
★ 公正・透明・誠実な 行動	サステナブル調達調査 実施率	取引金額ベースで 67%	取引金額ベースで 71 %	取引金額ベースで 70%	_																
5 8 10 16 17	サステナブル調達 実地監査 実施率	ハイリスクサプライヤー に対して 100%	100%実施	ハイリスクサプライヤー に対して 100%																	
	人権教育 (社内) の実施 と充実、サステナブル調 達との相乗効果	購買関連部門へ教育実施	20部門 57人	購買関連部門へ教育継続					5.1			8.5 8.7		10.2					1	16.2	17.16
	入社時および新任役職者 向けコンプライアンス教 育実施率	100 %	100%	100 %					5.2			8.8		10.3						16.7	
	コンプライアンス研修の 充実	各種コンプライアンス 教育の実施	全社コンプライアンス 研修(4回/年)実施その他、課題別研修 の実施	コンプライアンス研修 の充実																	
★ リスクマネジメントの 強化 10 11 16	BCP (災害) 構築	ハザードマップ (地震・ 洪水) の見直し	各拠点のデータベース において、ハザードマッ プポータルサイト (国土 交通省) に連携済み	災害対応マニュアルの見直しBCP(災害)構築	_									10.3	11.b				1	16.3	
	各国要請に合わせた個人 情報管理	諸外国の同法規則対応	法規制に合わせたプラ イバシーポリシー改定	— (2024年度より目標管 理から除外)	_															16.1 16.2 16.5	
★ 適正な情報開示と ステークホルダーとの 対話16 17	ステークホルダーとの対話 継続と取り組みへの反映	ESG関連各外部有識者 とのステークホルダー ダイアログ実施	担当部門が日常的に環境や人権、サステナビリティ推進分野の有識者と 面談・意見交換を実施	ESG関連各外部有識者 とのステークホルダー ダイアログ実施	_																17.16
地域社会との共生	戦略的社会貢献活動の 定着	従業員参画型社会貢献の 実施	複数プログラムを実施	従業員参画型社会貢献の 継続	_						1										17.16 17.17
コーポレート・ ガバナンス 5 8 10 16	取締役会の多様性、独立性、客観性の充実によるガバナンス強化	独立社外取締役 100%の維持女性取締役比率 25% (3/12)以上	独立社外取締役100% 達成女性取締役比率25% 達成	独立社外取締役 100%の維持女性取締役比率 25%以上	-				5.1 5.5			8.5		10.2					1	16.7	

上記数字のマークは関連するSDGsを示しています